

令和元年度 今治育成園 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治育成園
所在地	今治市町谷甲746番地
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住 所 今治市南宝来町一丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	知的障害者福祉法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、今治市条例等の法令・規則を遵守し指定管理業務を遂行しております。	A	職員は施設の設置目的や管理運営方針を理解して運営できています。保護者にも運営方針などを説明して理解をもらっています。
利用状況	A	入所者数は退所者の関係で定員を満たしていませんが、新規の入所者については随時調整を行っております。短期入所及びレスパイトの受け入れについては引き続き可能な限り受け入れを行いました。(新型コロナウイルス対策として、3月より短期入所、レスパイトの受け入れを自粛しております。)	B	施設入所者は昨年度は定員に達することがなく、延利用人数も減少しております。待機者もいる状況なので、入所者を増やすよう努めてください。
事業収支	A	社会福祉法人 今治福祉施設協会 経理規程等に基づき適正な経理業務を実施しております。	A	延利用人数が減り収入が減少しておりますが、適切に経理事務が行われております。引き続き経費削減に努め健全な運営をお願いします。
管理運営体制	A	組織体制・職員研修等に適正な運営が遂行されるよう努めました。また、引き続き障害者雇用も行っております。	A	障がい特性を理解するための組織内研修や派遣研修が実施できています。出張後の周知もシフトにより全員が一度に集まらないことを考慮し、文書回覧等で情報共有ができています。夜勤等があるため職員の負担も大きく、健康管理にも注意をお願いします。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	今治市との協議・連携により、仕様書等で定められた管理業務を今治育成園職員自らが実施し、職員が直接関与することが困難な業務につきましては、適正に業者選定、業務の委託を行い、適切な管理に努めました。	A	仕様書の基準に沿って適切に業務が実施されています。特に植栽管理業務については職員が利用者家族やボランティアの方と協力して施設の美化に取り組んでいます。
利用業務	A	利用指導資料作成、利用料減免、利用促進業務、誘致活動業務につきましては、当施設にとって馴染まないものとして自己評価の対象外とさせていただきます。利用者並びに当施設に関与される方々に、職員が親切丁寧な対応を行うよう努めました。施設・イベントのPR・情報提供のために、パンフレット・イベント情報・広報誌を作成配布しました。	A	イベント情報チラシを作成し、地元の公民館や学校など関係団体への情報提供がしっかりできています。また広報誌も年3回作成して関係団体だけでなく利用者の家族等に配布するなど、活動内容のPRができています。
その他業務	A	事故及び災害発生時の対応について、リスクマネジメント委員会を月1回実施し、職員協議の上で十分な対応を行うよう努めました。 省エネルギー対策につきましては、日頃の活動、地域交流行事等におきましてごみの分別や資源のリサイクルに積極的に取り組みました。喫煙対策では指定喫煙場所を当施設の建物外に設置し、分煙化を図りました。 個人情報保護に関しましては、社会福祉法人 今治福祉施設協会によります個人情報取り扱いに関する研修や職員より個別に誓約書を徴集し、適正な個人情報管理を徹底しております。 利用時間等につきましては、利用者ニーズに配慮し、柔軟に対応できるよう努めました。	A	火災・風水害・地震などさまざまな状況に対応できるよう偶数月に避難訓練を実施しています。また主任以上やリスク担当の職員等が参加して月に1回開催するリスクマネジメント委員会では、事故防止に向けた協議ができています。 また利用者の急な病気やけがに対応できるように医療機関と連携し、迅速に対応できる体制ができています。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、可能な限り速やかに対応し、長期使用ができるように努めました。	B	施設の老朽化により修繕が増加していますが、利用者が安全に生活ができることを最優先に迅速に対応できています。
備品管理業務	B	備品管理業務については、適切に実施されるように努めました。	B	既存品の老朽化による備品の購入がされています。これからも利用者が安心して利用ができるように計画的な購入をお願いします。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	利用者の利便性向上のため、飲料水の自動販売機を設置し、市場価格と同額で販売しました。収入については、施設の管理運営費に充当しました。	A	利用者の利便性に寄与するため、飲料用の自動販売機が設置されています。目的外使用許可申請の手続きも適切に行われています。
自主事業	A	自主事業につきましては、地域に根ざし、利用者並びに家族、地域住民、関連団体各位、職員が連携して創意工夫のもとで実施されています。当施設の諸活動によりまして、広く地域・一般の方々への普及啓蒙を行い、障害者福祉の向上に寄与すべく努めました。	A	地元婦人会や小学校PTAなど、地域のさまざまな団体の協力を得ながら、2つの恒例のイベントを実施しております。利用者やその家族のみならず、地域住民も多く参加するイベントとなっており、地域の行事として定着しています。今後も継続実施するようお願いいたします。
地域団体との連携	A	富田地区コミュニティ推進会をはじめとして、富田福里会、草の根ふれあい会等の関係諸団体と密接に連携し、地域交流行事などを通じて、住民の皆様と共に、ふれあいのまちづくり事業推進、障害者への理解を深めるなど地域に根ざし、地域に関かれ、地域と共に歩む活動を通じて、地域に愛される施設づくりに邁進して参りました。	A	地域の自治会をはじめとする各関係機関と協力しながらイベントを実施するなど、開設当初から密に連携が取れています。今後も地域に根ざした取組を継続して、地域に愛される施設運営を心がけてください。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	A	アンケートの実施にあたっては今治市と協議し、結果・分析等は適正に処理しております。	B	アンケートにより引き続き利用者や家族から満足度の高い回答を得ております。ただ回答率が50%となっているため、より多くの要望・意見を把握するためにも、回収率向上に努めてください。
事故・苦情	A	当施設利用者の事故や苦情に対し、意見が述べやすい環境整備に努め、適切な対応や記録・分析を行い、有効な対策が講じられるような組織づくりに努めました。	A	利用者の事故が増えていますが、事故発生当時の対応や状況報告などについては事故報告書として記載され、関係機関にも適切かつ迅速に報告できています。苦情の報告もなく円滑に業務が実施できています。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総 合 コ メ ン ト ( 市 )

今治育成園では、施設入所(生活介護)、短期入所、日中一時支援の3つの事業を展開しており、それぞれ順調に運営されています。特に入所者においては、ほぼ定員を満たしており、待機者もいる状況です。地域との連携が強く、また地域の理解も深く、イベント時には大勢の地域住民が訪れます。特に地域福祉祭り、観月会の2つの大きなイベントについては共催という形で実施されており、毎年恒例行事となっています。今後も、地域とのつながりを大切に、地域とともに育んでいく施設となるよう期待します。